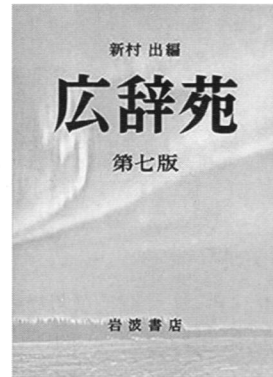


ふてしこ

11 '20
No.300

巡回通信誌



Common epithelial tumors : 彷徨る表題 (Stray Caption)

Build-up of ovarian epithelial tumorigenesis after the collapse of common epithelial tumor theory

唯、ド拍子に長き脇差 膂力

名誉院長 西 田 敬

何事も固定観念に捉われた儘では；儲け損なう。出版屋に親戚でも居れば、是非とも、忠告、進言したい事は、あの大冊、広辞苑の縮刷、ポケット版の作成。即ち、販売促進を目指した大改訂。折角の新村出、彼くらい御高名になれば、其の名はラーメン屋の屋号と一般で、不適當な敬称を付ければ却って失礼、の労作・秀作でも、手狭な、我が机の上に備えるには嵩張過ぎるし、何しろ重い！手元で開くのも億劫。迂闊にでも取り落とせば、何倍も高価なノートパソコンが木端微塵。思い起こすのは市川三喜のポケット版の英和辞書（研究社）。メモ帳サイズ、片手で操作できる優れモノ。而も、収載語句に過不足なし。将に、山椒は小粒でピリりと辛い。然る連句集で目に触れた、其角の作品、「唯、ド拍子に長き脇差」。謂わば、独活の大木、総身に知恵が回りかね。広辞苑を、目にする度に思い浮かぶ。翻って、インターネットに接続したノートパソコン、世界に繋がる情報量は、先ず、無限。絶えず新陳代謝され、決して陳腐、間違っても、弊履とはならぬ。

斯斯る駄文を閉じるに相応しい、戯れうた2首

- i) 畏れ入り谷の鬼子母神
- ii) 吃驚、下谷の広徳寺

